

# SAFETY JOGGER

## TACTICAL

軽作業用、

## KOMODO S3

### ローカット軽量オールラウンドタクティカルブーツ

KOMODOは、耐パンク性に優れ、軽量なトゥキャップと、通気性の良いライニングを採用した安全靴です。安全規格S3を満たし、一日中快適な履き心地を提供します。

アッパー	テキスタイル, ウォータープルーフレザー
裏地	メッシュ
フットベッド	SJフォームフットベッド
ミッドソール	不織布
アウトソール	ファイロン/ラバー
トゥーキャップ	ナノカーボン ブ
カテゴリ	S3 / ESD, SRC
サイズ範囲	EU 35-47 / UK 3.0-12.0 / US 3.0-13.0 JPN 21.5-31 / KOR 230-310
サンプル重量	0.530 kg
規範	ASTM F2413:2018 EN ISO 20345:2011



BLK



#### S3

S3安全靴は、湿度が高く、油や炭化水素が存在する環境での作業に適しています。また、靴底の穿孔リスクや足の潰れから保護します。



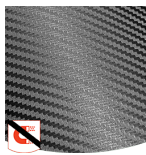
#### SRC滑り抵抗

耐滑靴底は、安全靴や作業靴の最も重要な機能の1つです。SRCの耐滑靴底は、SRAとSRBの両方の耐滑試験に合格しており、鉄とセラミックの両方の表面で試験されています。



#### 静電気放電 (ESD)

ESDは、電子部品を損傷する可能性がある静電気エネルギーの制御された放電を提供し、静電気から生じる発火の危険を回避する。100 KiloOhmから100 MegaOhmの間の体積抵抗。



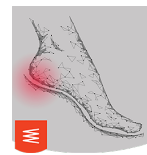
#### メタルフリー

金属無料安全靴は、一般的に通常の安全靴よりも軽いです。彼らはまた、金属探知機を数回、日を通しての必要がある専門家のために非常に有益です。



#### ナノカーボントゥーキャップ

超軽量ハイテク素材、熱や電気の伝導がないメタルフリー。



#### ヒールエネルギー吸収

ヒールのエネルギー吸収により、ジャンプやランニングが着用者の身体に与える衝撃を軽減します。

## 産業分野:

オートモーティブ, 食品#飲料, ロジスティクス, 産業分野, タクティカル, ユニフォーム

## エンバイロメント:

極端に滑りやすい路面, 湿潤環境

## メンテナンス方法:

靴を長持ちさせるために、定期的にクリーニングし、適切な製品で保護することをお勧めします。靴を暖房器具の上で乾燥させたり、熱源の近くで乾燥させたりしないでください。

	商品説明	測定単位	結果	EN ISO 20345
アップパー	<b>テキスタイル, ウォータープルーフレザー</b>			
	上段: 水蒸気透過性	mg/cm <sup>2</sup> /h	3.5	≥ 0.8
	上段: 水蒸気係数	mg/cm <sup>2</sup>	33	≥ 15
裏地	<b>メッシュ</b>			
	裏地: 水蒸気透過性	mg/cm <sup>2</sup> /h	68.4	≥ 2
	裏地: 水蒸気係数	mg/cm <sup>2</sup>	547	≥ 20
フットベッド	<b>SJフォームフットベッド</b>			
	フットベッド: 耐摩耗性 (ドライ / ウェット) (サイクル)	しゅうき	25600/12800	25600/12800
アウトソール	<b>ファイロン/ラバー</b>			
	アウトソールの耐摩耗性 (ポリウレタンロス)	mm <sup>3</sup>	65	≤ 150
	アウトソール滑り抵抗 SRA: ヒール	フリクション	0.46	≥ 0.28
	アウトソール滑り抵抗 SRA: フラット	フリクション	0.39	≥ 0.32
	アウトソール滑り止め SRB: ヒール	フリクション	0.14	≥ 0.13
	アウトソール滑り抵抗 SRB: フラット	フリクション	0.18	≥ 0.18
	帯電防止値	メガオーム	N/A	0.1 - 1000
	ESD値	メガオーム	22	0.1 - 100
	ヒールエネルギー吸収	J	21	≥ 20
トゥーキャップ	<b>ナノカーボン</b>			
	耐衝撃性トゥーキャップ (衝撃後クリアランス100J)	mm	N/A	N/A
	耐圧縮トゥーキャップ (10kN圧縮後のクリアランス)	mm	N/A	N/A
	耐衝撃トゥーキャップ (衝撃後クリアランス200J)	mm	16.0	≥ 14
	耐圧縮トゥーキャップ (圧縮後のクリアランス15kN)	mm	17.0	≥ 14

サンプル数: 42

当社の靴は常に進化しており、上記の技術データは変更される可能性があります。すべての製品名とブランド名Safety Joggerは登録されており、当社の書面による同意なしに、いかなる形式でも使用または複製することはできません。